

# 宮里公園はうりずんから夏へ

宮里老人クラブ新聞  
**みやわし**

2026  
**5月**  
**第31号**

会長：前門 政子  
題字：喜屋武磯江  
編集：山下 博實

明るい夏の日差しのもと、グラウンドゴルフに興じる  
【宮里公園】



うりずんも遠くへ、宮里公園は夏の気配に包まれてきました。公園のホウオウボクやサルスベリの頂に咲く花が目を引きまです。足元にはクロバーの白に、ムラサキカタバミが可憐な色で小さく混ざります。蝉の声もやがて。公園に集う人も少しずつ増えていきます。広さは1,300㎡と、この地区では最も小さくて古い公園ですが、歩いて来れる地の利

もあり、みやわし会の皆さんが週延べ60人以上も集います。グラウンドは土が剥き出しのまま。それでもほどよい広さで水はけも良く、手入れは会の皆さんで続けてきます。火曜日はグラウンドゴルフ、月・金・土はゲートボール。閑静な住宅地に、打球の音とともに拍手や歓声、そしてため息や明るい笑い声が広がります。



和やかにゆんたくのひとときが流れる【宮里公園の東屋】

ます。初めて参加する人も増え、先輩方が一見難しそうに見えるスパークやタッチの打ち方をやさしく教えてくださいます。ゲームのあとは東屋でのゆんたく。持ち寄りのお菓子や手作り料理を囲み、和やかなひとときが流れます。宮里公園は、やーぐまいを避けて楽しく集える憩いの場となっています。4月18日の自治会総会では、この宮里公園に憩う皆さんの雰囲気とともに、トイレやグラ

## 役員会だより

### 役員会開催：

4月18日(水) 14:00～16:00

議長：前門政子会長 出席：役員6名  
議題

1. 定期総会：5項目の議案と内容の審議
2. 友愛訪問連絡会：  
5月14日(木) 定例会に続き実施する。

### 5月の予定

#### 定期総会：

5月21日(木) 10:00～12:00

定例会：(木)10:00～公民館2階

・5/7, 5/14, 5/28 百歳体操と定例会

#### 役員会：

・5/13(水) 14:00～15:30 公民館2階

#### 宮里公園：

毎週(月)金(土)：ゲートボールとゆんたく

毎週(火)：グラウンドゴルフとゆんたく

ド整備などがかかえる課題を報告しました。桑江研市長からも、今後一緒に検討していく旨のお話をいただきました。

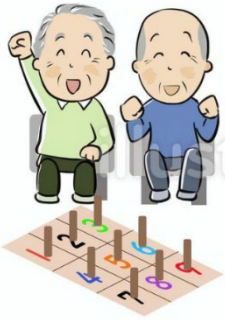


比嘉幸子さん  
スパークでボールを自在に操る



喜屋武磯江さん(左端)のボールの行方を見まもる  
【宮里公園 ゲートボール】

# 5月21日(木)10時 定期総会のお知らせ



5月21日(木)午前10時より  
宮里公民館でみやわし会  
定期総会を開催します。総  
会前には東江信雄さん企  
画の輪投げでひと勝負、笑  
顔で体をほぐしましょう。



総会では昨年度の報告

と新年度の計画を審議します。終了後は食事と懇親会でゆんたくを楽しみます。皆さまのご参加をお待ちしています。

## 体操、踊り、学び、進化する定期例会

毎週木曜日、午前10時ちょうど。会場のディスプレイに百歳体操の映像が流れます。みやわし会定期例会の始まりです。並べられた約30脚の椅子はほぼ埋まり、ゆるやかな音楽で筋肉を伸ばします。無理なく体を整えていくひとときです。

4月は年度の節目。2日の定期会で前門政子さんは次期も会長を続投する決意を語り、喜屋武秀子さんが「豊年あやぐ」で華やかに寿ぎました。続いて、かぎやで風、浜千鳥、かりゆし音頭、肝が



詐欺防止の話にも、皆さん熱心に耳を傾けました【宮里公民館】

体操、踊り、交流、そして学びへ——。みやわし会の定期会は、多彩な役割を担う地域の貴重な場として、さらに発展を続けていきます。

4月23日には、琉球銀行から栗國偉舞さんと名嘉千景さんが来訪、資産を狙う悪質な詐欺への注意をよびかけました。「絶対「確実」とうたう儲け話には乗らないことが大切です。また、終活相談にも応対していることが紹介され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

毎回ふるまわれるお菓子や手作り料理を囲んでのゆんたくも、この会の楽しみの一つ。新しく入会される方も多く、会長や本人から語られる参加の動機に、会の広がりや魅力が感じられます。男性の参加も増えてきました。

みやわし会の内間秀太郎さんが4月17日、沖縄市文化協会主催の琉歌大賞を受賞されました。謹んでお祝い申し上げます。



内間秀太郎さん【沖縄タイムスより】

# 内間秀太郎さん 琉歌大賞

コザぬ街しぬで 通いがな通で  
明きる夜ん知らん 思い残り

(コザの街をしのび、夜ごと通い詰り、夜が明けるとも忘れるほどに過ぎたあの頃。その想いは今も胸に残っている)  
作品には、コザ騷動の記憶や米兵による事件・事故への思いが込められているとされています。時代を見つめてこられた深いまなざしと、郷土への想いが伝わってくる一首です。



誰もが主役、木曜のひととき